

# 江南区 両川地区コミュニティ協議会

活動名：地域の愛・誇り・絆～両川の未来は「なしっ子レスキュー隊」に任せて！

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

少子高齢化が著しい地域であるため、地域防災、災害時の安全確保の観点から、将来の地域の担い手である若い世代を育み、世代間交流を促し地域の活性化を図ることが急務であった。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ・ 地域と学校が連携し「人づくり・地域づくり」に取り組み、地域貢献できる中学生の育成に取り組むとともに持続可能な地域社会を築く。
- ・ 中学生のジュニアレスキュー訓練活動とその支援を核として、地域の老若男女、住民全体の防災意識の高揚及び世代間交流を促し、地域の絆と地域防災力を高める。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ・ なしっ子レスキュー隊の結成と自治消防団の支援によるジュニアレスキュー訓練活動の実施。
- ・ 新潟地震後50年を機に、地域全住民を対象とした防災訓練・避難訓練の企画・実施、「なしっ子レスキュー隊」によるレスキュー活動の展開。
- ・ 「地域貢献」をテーマに「なしっ子レスキュー隊の誕生」を題材にしたミュージカル上演。
- ・ 地域の梨農家から寄付された350kgの梨を全校生徒と地域住民と一緒にパイの餡にするジャム作り。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

## 実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ・ 中学生の地域防災を担う意識の高揚、地域や地域住民への感謝の念の深まり。
- ・ 中学生のコーディネートによる地域住民の世代間交流の促進。
- ・ 地域安全・地域防災に関する地域の課題に対する住民の関心・意識の高揚。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦勞した点はどんなところですか？

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・ 地域防災訓練等に「なしっ子レスキュー隊」の活用。



江南消防署員のほか、地域住民である自主防災組織、江南方面隊両川分団の指導を受けながら交流を深める両川中学校中学生



中学生全員に地区コミュニティ協議会から「なっし子レスキュー隊」腕章（オレンジ色のオリジナル腕章）を貸与され、地域の担い手としての自覚を啓発。

創作ミュージカルで、地域貢献を考える～なっし子レスキュー隊の誕生～と題して、観客の住民・保護者に自主防災の大切さを訴えた。



# 江南区 亀田西小学校区コミュニティ協議会

活動名：中学生登校時冬期ボランティア活動 ～冬期五味（支・愛・繋・合・協）出し活動～

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

近年、少子高齢化が進行し、生活様式が多様化している中で、だれもが住み慣れた地域で自立した生活が送れるような地域の仕組みが必要だと感じたため。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

地域課題である高齢者世帯等のゴミ出しを取り組むことで学校・地域・行政の連携を図るとともに、中学生の福祉体験を通じて福祉に対する理解と関心を高め、また思いやりのある心を育てていくこと。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

地域の中には様々な社会資源（学校・自治会・民生委員・商店街・PTA・NPO・事業者）があるが、なかなかこれらの団体、個人が連携できないのが現状のため、中学生の登校時ごみ出しボランティアを行うことで、学校・地域・行政の連帯・協働を図った。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

亀田西中学校・地域包括支援センターかめだ・江南区社会福祉協議会・ライオンズクラブ

## 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

冬期ゴミ出しを依頼した高齢者からは「学生さんが訪ねて来てくれることで勇気が湧いてきたり、明るい気持ちになれた」などの感想があり、中学生からは「地域の役に立てた。ありがとうと声を掛けられてうれしかった」などの感想があり、双方に効果があった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

中学生の通学路と利用者（高齢者等）宅とマッチングさせるのに苦労した。中学生のボランティア希望者が多いのに対し、利用者（高齢者等）の周知が行き届かなかったのか希望が少なく、ボランティアの意識をもった人材をフルに活用できなかった。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

この取り組みを通じて、中学生に思いやりの気持ちが育ち、また地域への関心が深まっていけば、将来この地域を支える人材育成にも繋がっていく。さらには地域課題の解決にも繋がっていくため、今後も少しずつ利用者を増やしていきたい。



ごみステーションに運ぶため、高齢者からごみ袋を受け取る亀田西中の生徒たち＝新潟市江南区

## 高齢者の雪道転倒防止



新潟市江南区の亀田西中学校の生徒たちが冬の間、地域の高齢者世帯のごみ出しを代行するボランティア活動に参加している。道路の凍結や積雪で転倒したりする恐れもある高齢者世帯の支援と同時に、中学生に福祉への関心を高めてほしいと、江南区が双方に働き掛けて始めた。2年目となる今年は対象地域も広がり、関わる生徒も増えている。高齢者からも感謝の声が上がり、評判も上々だ。

# ごみ出し生徒が代行

実施2年目 地域を拡大 感謝の声を励みに

亀田西中

午前7時。肌を刺すような寒さの中、1年生の中川瑞貴さん(12)・堺彩香さん(13)・喜藤茜理さん(13)の3人が部活の朝練前、通学路の途中にある渡辺次三郎さん(88)宅を訪ねた。おはようございますと元気にあいさつ。燃やすごみが入った袋を受け取ると、200リットルと先にあるごみステーションまで運んだ。

このボランティア活動は昨年、校区の一つである亀田西小学校区内に住む高齢者2世帯を生徒2人が担当し、計1日間実施した。今冬は、もう一つの早通小学校区にも対象地域を拡大。合計で4

世帯の高齢者から依頼があり、1、2年生8人で担当することになった。昨年12月から、各世帯の要望に応じて週2〜4日程度活動している。一人暮らしをしている渡辺さんは「足腰が悪いから、毎朝冬の雪道を歩くのがつらい。本当に助かる」と中学生たちに感謝する。3人は「お年寄りが重いごみを運ぶのは大変そうだと思っていた。人の役に立ててうれしい」と声を弾ませていた。

江南区では「地域によって事情は異なるが、高齢者にとっても、中学生にとってもメリットが大きい」と意義を強調。他に参加を希望する生徒も多いことから今後、対象校の拡大なども考え、活動を定着させていきたいとしている。

## 亀田西小コミ協 冬期ごみ出しボランティア



登校時に高齢者のごみ出しをお手伝い

亀田西小学校区コミュニティ協議会では、亀田西中学校の生徒がごみ出し困難世帯の冬のごみ出しを手伝う「冬期5味(支・愛・繋・合・協)出しボランティア」をモデル事業として行っており、さまざまな人たちの協力を取り組みが進められています。

1年目の昨年度は、ボランティアとして手を挙げた大勢の生徒の中から、登校時に対象者宅の近くを通る2人が実際に活動し、2月から3月の登校時、朝のごみ出しを手伝いました。

今年度は、同じ中学校区の早通小学校区コミュニティ協議会も参加するよ

うになり、期間も12月から3月中旬までに拡大。現在、1年生から7人、2年生から2人の生徒がボランティアとして活動しています。

その一人、2年生の今泉愛華さんは、「地域の人の役に立ちたいと思って始めました。喜んでもらえていたうれしいです」と話してくれました。

同コミ協で事務局長を務める間島さんは、「この取り組みを通じて中学生の心に思いやりの心が育ち、また、地域参加にも繋がっていけばうれしい。来年度以降も少しずつ取り組みを続けていきたい」と話しています。

平成24年2月19日号  
区役所だより「こうなん」  
報掲載記事

# 江南区 亀田東小学校区コミュニティ協議会

活動名：ふれあい茶話会

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域内の高齢者率が高まるにつれ、独居老人が増加している。また、全国的に高齢者の交通事故が問題となっていることに注視した。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

普段、あまり外出しない高齢者などを対象に地域交流の場を設定。併せて高齢者の交通安全意識を高める。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

高齢者が気軽に立ち寄ることができる場として「ふれあい茶話会」を開催。併せて警官を講師として「高齢者の自転車事故防止について」と題した交通講話を実施した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

江南警察署

## 実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

約 150 人の高齢者が参加。普段あまり外出しない人などが大勢集まり、交流が深まった。また、交通講話を通じ、交通事故防止の意識が高まった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

普段あまり外出しない高齢者を対象としたことから、自発的な参加があまり期待できなかったため、個別に参加を促した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

H27 年 9 月より、毎月第 2・第 4 水曜に「お茶の間しののめ」を亀田地区コミュニティセンターで開催。開催に合わせ、健康教室などを適宜実施する予定。





# 江南区 横越コミュニティ協議会

活動名：そばねって、いっしょうそばに寄り添って

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

未婚者の増加, 少子高齢化の進展

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

「そば打ち」を通じて独身男女の出会いの機会を作り、地域の活性化、少子化に歯止め。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

横越農村環境改善センターでそば打ちと試食、北方文化博物館の見学をとおし交際開始のきっかけを作る。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

(財) 北方文化博物館

## 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

4組が交際に発展した。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

イベントのPRや内容

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

イベントを継続して目標達成につなげたい。







# 江南区 横越コミュニティ協議会

活動名：嫁入り船復活プロジェクト

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

環境保全と地域の魅力発信

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

地域の魅力発信

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

嫁入り船で小阿賀野川を下り、北方文化博物館で婚礼を挙げる。往時の農村文化や郷土の歴史を再現する。撮影ロケーションも良く、絶好の被写体となるのでフィルムメーカーとの共催で写真コンテストを実施。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

(財)北方文化博物館, アークベル, 新潟フジカラー, 横越漁業組合, 小阿未来の会他

## 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

多数の見物客と新聞紙上への掲載, 多数の写真コンテストへの応募

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

イベントのPRや内容

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

イベントを継続して目標達成につなげたい。

